

都道府県金融広報委員会の活動紹介

講演会等を通して積極的に情報発信

千葉県金融広報委員会

当委員会は千葉県環境生活部県民生活課に事務局を置き、県の事業と連携して、金融・金銭教育の重要性を講座や講演会等で発信し、啓発に努めています。そこで、平成20年度に当委員会が手掛けた活動の一部をご紹介します。

まずは、見城美枝子さんを講師にお迎えしての「金融・経済講演会」を開催です。「変わりゆく時代の暮らしと金融」をテーマに、秋の午後のひととき、暮らしに役立つお話を聞いてみませんか？とのキャッチフレーズで県民の皆さまに呼びかけたところ、約350人のご参加をいただきました。見城さんの日常生活から見える経済を、身近な観点から分かりやすくお話しくださり参加者の皆さまには大変好評でした。

また、金融教育公開授業を習志野市立第三中学校で行いました。「世界一おもしろい経済学」をテーマにいちのせかつみさんを講師に招き、同校生徒はじめ教育関係者ら約450人が「おかねの知識」について学びました。携帯

者が身に付けておきたい基礎的な知識や情報(若者を狙った悪質商法被害やクレジットカードの防止について等)を提供しています。

金融教育のさらなる普及を目指して

新潟県金融広報委員会

当委員会(事務局：日本銀行新潟支店)では、従来から学校教育現場における金融教育の普及に重点をおいた活動を展開しています。特に、県下の高校生(主に3年生)を対象に実施している「巣立ち教室」では、これから親元を離れ、大学や社会に出ていく若

者が身に付けておきたい基礎的な知識や情報(若者を狙った悪質商法被害やクレジットカードの防止について等)を提供しています。

この「巣立ち教室」は、新潟県との共催で平成10年度から実施しているもので、昨年度までに延べ367校、約5万5000人の生徒が受講してきました。実施した学校からは「具体的なトランプルの事例や対処法、相談窓口の紹介など生徒にとって大変有意義な講座」との感想が数多く聞かれます。

また現在は、金融教育研究校として小・中・高等学校のそれぞれ2校ずつ計6校が活動しており、元研究校の先生方を中心とした「金融教育研究グループ」も平成20年9月に発足しました。このほか、1人でも多くの先生方に「金融教育」の必要性を理解していただきたいと始めた「教員セミナー」も、現在では当委員会の恒例行事の一つになっています。



よい情報を提供できるように努めたいと思います。

さらに、年末には朗報が飛び込みました。それは、「金融と経済の明日」第6回高校生小論文コンクールで最高賞となる特選を、千葉県では、何と2人も受賞されたことです。おふたりは、「夢は必ず叶える」という固い決意と喜びを語られ、私たちも力強い励ましを得ることができました。今後も、あらゆる機会を捉え、より多くの方々に金融に関する有益な情報をお伝えするなど、金融広報委員会の活動を一層推進してまいります。



右から 受賞校：東京学館高等学校長、佳作受賞生徒、金融広報中央委員会会長賞受賞生徒、佳作受賞生徒、千葉県金融広報委員会幹事長